

- 本学はSociety 5.0 を、人間知・機械知・自然知の融合により新たな価値（進化知）を創造し様々な課題を自律的に解決しながら発展し続ける「共創進化機能」を内包した未来社会、すなわち「共創進化スマート社会」と考え、本学はその実現に貢献し、自らも共創進化スマート大学になることを「UEC ビジョン ～beyond2020～」にて宣言し、第4期中期目標（期間：令和4年度～令和9年度）に掲げた共創進化スマート社会の世界的な教育・研究機関、実現拠点となるべく、教育・研究の両面において様々な特色ある取組を導入・強化してきたところです。
- 特に教育面においては、UEC「エ」型人材の育成を謳い、岩盤のように強力な共通教育の上に各教育プログラムの個性を活かした専門教育を実施してきました。さらにイノベーション力を育成するためにIMDAQ(※)教育や実践的工房教育のほか、副専攻等の仕組みを置くとともに、教育DX、UEC検定など新しい取組も導入しており、多方面から評価されているところです。
※ IMDAQ（イムダック）・・・「情報（I）、数理（M）、データサイエンス（D）、人工知能（A）、量子（Q）」を表す略語で本学の登録商標
- しかしながら、昨今のAI技術の発展やグローバル化等による大学教育を取り巻く環境が急激に変化しており、変化の激しい産業界や国際社会に対応した次世代を担う人材を育成するためには、学生一人ひとりに最適な学修支援環境を整備することが必要不可欠です。そのため、施設設備やICT環境といったハード・ソフト両輪におけるインフラの高度化を図るとともに、本学の強みである量子や数理・データサイエンス・AI等の最先端分野教育の充実や、学修成果の可視化による教育DXの推進、国際競争力強化のためのグローバル対応等による教育改革を断行する必要があり、人的・財政的資源をこれまで以上に投入しなければならない状況となってきました。
- 本学においては法人化以降、運営費交付金や競争的資金、産業界等との連携を通じた外部資金の獲得等多様な財源の確保のほか、諸経費の精選による節減等様々な自助努力を重ねてきましたが、こうした学修支援環境を持続的に提供するためには、基盤的かつ安定的な収入が見込める授業料も活用することが適切であると判断し、学生及び学資負担者の方にご負担いただく授業料の改定を実施させていただくものです。
- なお、「大学等における修学の支援に関する法律」の趣旨を踏まえ、経済的理由により進学の手続きが滞ることがないよう、授業料改定にあわせて本学独自の授業料減免を拡充するとともに、国立大学で唯一地名のつかない大学として全国各地から学生を受け入れるべく、新たな奨学金制度を創設することなどにより、経済的な事情に左右されることなく、意欲ある学生が修学を継続できるよう支援いたします。

授業料改定

	現行	改定後	改定時期
学士課程（昼間コース）	535,800円	642,960円	2026年4月入学者から適用
学士課程（夜間主コース）	267,900円	321,480円	//
博士前期課程	535,800円	642,960円	2030年4月入学者から適用
博士後期課程	535,800円	—	（改定しない）

※入学料及び検定料は据え置きとします。

※三年次編入生は学年進行とあわせて2028年4月入学者から適用します。

学生の経済的支援の充実

授業料の改定により、経済的理由による進学の手がかりが損なわれることがないよう、大学の自己収入等の財源を用いて、新たに次の手当を講じます。

対象者	支援策
「高等教育の修学支援新制度」の授業料減免に採用された学生	2026年4月入学者より、採用された支援区分（全額免除・2/3免除・1/3免除）に応じて授業料減免額を拡充
本学が実施する授業料免除に採用された学生	2026年4月入学者（学士課程）、2030年4月入学者（博士前期課程）より、採用された支援区分（全額免除・半額免除）に応じて授業料減免額を拡充

※この他、経済的な理由により進学の手がかりを失うことのないよう、地方出身学生に対し、本学独自の給付型奨学金制度を創設します。
（2027年4月より実施）

※また、本学では学業の援助と奨励のため、独立行政法人日本学生支援機構、地方公共団体、民間の財団法人等の奨学制度を利用できるようサポートしています。詳しくは以下のURLをご参照ください。

（<https://www.uec.ac.jp/campus/fee/scholarship.html>）

今回の授業料改定による財源を活用し、学生一人ひとりに最適な学修支援環境を整備するため、以下3つの柱に対して集中的にリソースを投入します。



教育の質の向上

- 教育DX(UEC-LAP)及び「UEC検定」の更なる充実強化
- アセスメントテストの受検支援の拡充
- ディプロマサプリメントシステムの導入
- 基礎科学実験・計測の充実
- IMDAQ関連プログラムの体制強化



グローバル教育への対応

- TOEICの受検支援の拡充
- 技術英語教育の充実
- 海外インターンシップ等による学生派遣の拡充



キャンパス環境の快適化

- 老朽化の著しい施設・設備の改修更新
- 「共創進化棟」新棟整備計画の推進
- 最先端AIツール等のソフトウェア導入
- 附属図書館の機能強化

皆様からいただく貴重な財源は、ご負担いただく全学生に還元すべく、基盤的な学修環境の整備充実や本学独自の革新的な教育・学修支援の充実に活用させていただき、更なる学生生活の質的向上及び満足度向上に繋げ、産業界や国際社会でのリーダーとして主体性を持って活躍する逞しい人材を養成するために尽力することをお約束いたします。